

第二五月附録

府下十二名家の揮毫を石版に印刷し毎月附録として配布する其第一回は已に時事新報の愛読者に送達せり第二回の附録は来る五月初旬を期して之を發行す其畫題並に畫家は

挿秧 松岡 壽氏

にして田圃の時節、田家の光景は宛然此畫中に集り質樸なる農家の少女が挿秧に忙しむる状態、寫し出して眞景を見るが如くなるべし

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價(海外送達には此他後に)

一號 貳圓五厘 一箇月 前金五拾錢 三箇月 前金壹圓四拾五錢 六箇月 前金貳圓八拾五錢 一箇年 前金五圓四拾錢 〇月曜日休刊(此他大祭祝日等一年未等一切休刊セズ)

時事新報送達料

- 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山津 一箇月 金拾三錢
二 南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢
三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸島 一箇月 金三拾錢
四 香港を經て郵送する亞細亞諸島、太平洋諸島、澳洲 一箇月 金六拾五錢
五 露領滿洲、清國諸港 一箇月 金三拾五錢

Table with 2 columns: 行 (Line) and 付 (Amount). 一行 五錢五分、二行 十錢、三行 十五錢、四行 二十錢、五行 二十五錢、六行 三十錢、七行 三十五錢、八行 四十錢、九行 四十五錢、十行 五十錢

廣告料定價 時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる者あるも取次人の内には往々定價以下にて引受次人に對し本社廣告の取次を發見する時は直ちに其取に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるを以て斯る類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社に之を報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに進行をせしむる場合も算か本報に之を發送せらるるを許さず

時事新報

前號の紙上に「企業は亞非利加洲に在り」と題して今日我國人は日本の小天地に離れることを止め亞非利加大陸に移住して大に爲す所ある可しとの次第を述べたり左の一編は近著の英國雜誌「ナインティーン」に「センチュリー」に載せたるアルサントウツアホアイト氏の論文を抄録したるものなり亞非利加の現狀を知らんとする者の爲め參考と爲る可ければ記して以て社説に代ふ

亞非利加に處するの政略

亞非利加の事に就て論議せんとする者は必ず該大陸に三大區分あるを記し得ざる可らず即ち地中海沿岸部、中央熱帶部及び南方の温帯部是れなり地中海の地方はサハラの大砂漠の爲めに他の地方と全く縁を斷たれ亞非利加大陸今後の運命には更に關係なきのみならず大抵皆歐洲諸國の支配する所と爲り恰も歐洲の一部分たる姿を爲せり又南方の温帯地方も同じく氣候の温和なるが爲めに歐洲人の移住する者多く今は盡く其支配に屬せり然るに獨り熱帯部に於ては沿岸少許の地に歐洲人の住居するのみ餘は都て皆野蠻なる土人の住地にして今後容易に白人の所領と爲る可き見込なし而して此熱帯地方の中に又南北の二部あり北部は即ちスーダンにしてイスラムの支配に屬し南部は即ちパンツ種族の住地にして歐人の支配に屬せり北部の大半は砂漠にして氣候酷熱なるを以て爰に白人の入込み得べき見込は殆んど無しと云ふも可なり南部の風土は北部に比すれば稍人間の生活に適するもの如しと雖も今日之の處、歐洲より爰に移り來て永く住居する者は先づ以てなかる可し但し此地方には所々にオーニス(一處のみに限りて草木繁茂する土地)なきに非ざれども何分にもオーニスとオーニスの距離甚だ遠くして其間に廣漠たる不毛の熱地の在るれば白人の移住者に取ては極めて困難なり斯の如く天然の困難容易ならざるものあるに拘はらず今亞非利加の地圖を開けば其全部盡く歐洲諸國の爲めに分割せられて殘る所なきが如くなるを奇觀なれ蓋し今日の實際に於て熱帯亞非利加に歐洲人の住居して支配する領地は極く狹隘なる沿岸の地方に止まるべし事實は歐洲人も自から知らざる所なり其實は遠征の熱に乗じて漫に所領地の廣大ならんことを欲し實際には自から足にも踏まず目にも見ざる廣漠たる地方を臆測して地圖を作り圖面上にて我領地と定めたるものに過ぎず左れば今後亞非利加に對して如何なる政略を取り自國の所領と定めたる土地を支配するには如何なる方法を用ふ可きかは歐洲諸國の爲めに取て眼前に差掛りたる最も重大なる問題なり抑も亞非利加が天然の富源に豐なるは疑もなき事實なれども惜むらくは其大部分の氣候酷熱にして白人の住居に適應せざるを又運輸交通の便尙未だ開けざるを此二箇條の爲めに歐洲人の勢力を以て其内地を支配し近代文明の影響を及ぼすに甚だ困難なり且つ又白人が新開國に移住して利益を爲るに最も必要なるは其地方の土民が歐洲の製造品を消費すると同時に又自から産物を造り出して以て輸入品と交易するの力を備ふるの一事なるに今日亞非利加の内部に斯る力を備へたる人民は固より有る可き若くは何れも開闢以來唯天然の有様に安んじて改るべきを知らず自から物を造るものと云ふ又人の造りたる物を得んと欲するの心もなき貿易商賈の利益なきは夢にも考へざる野蠻昧の愚民に外ならざれば假令其富源大なりと云ふも誰れ彼れを問はず該地に之を往けば黨中の物を採るが如くに其富を拾ひ取るを得可しなと思惟するは其だしき誤なりと知る可し元來歐洲諸國が争ふて亞非利加に領地を造らんとするは何の目的を出るやと尋るに詰る所土人の苦樂如何の如きは之を度外視して唯自から自家の

官報

第二豫備金支出

明治二十七年年度第二豫備金支出 第二回 明金五萬七千四百八拾參錢七厘 布哇國派遣軍艦費 在布哇國本邦人民保護ノ爲メ派遣中ニ係ル軍艦費トシテ本行ノ金額第二豫備金ヨリ支出ノ儀海軍大臣ヨリ請求有之本大臣同意ヲ表シ之ヲ上奏シ本月十二日勅裁ヲ得タリ 明治二十七年四月十四日 大藏大臣 渡邊國武

外船密獵の場處に就て

海外船密獵の場處に就て 外國密獵船の我近海に來集するもの益々増加せるに就ては種々偵察をなすものもあるが今或る人の語る所によれば其漁獵の場處は多くは百五十海里乃至二百海里の沖合、黒潮の流に逆ひ北上するものにて昨今は殆ど金華山沖に群集し今後漸々千嶋沿海に及ぼし七月の交には千嶋に至り黒潮の寒潮と混する時を以て終期とするものも由にて時として三海里位の内地に獵する事なしと云ふを得され多くは我領海以外に於てするものなれば到底之を拒むの道なく唯我漁業の發達せざる爲め沿海の大利を外人に占めらるるを惜むのみと云へり事實果て如何

電話機專賣期限

電話機專賣期限 米國に於ける電話機の專賣者ベル氏の始めて專賣を得たるは千八百七十六年三月七日なるが十七箇年の有効期限も既に満ち本年二月一日より諸人勝手に製造する專賣期限中のもの少々は

長岡失火に對する

長岡失火に對する 長岡銀行内に於て被保人由なるが被保人は七十七萬千六百圓なれども此契約を以て實際支拂ひたる十五錢なるよし右は拂込額に對して拂出せる者にして大の支拂を爲したるは同會

五品大會彙報

五品大會彙報 四日 會出席委員人數の見込は委員百七十五名合計四百二十名に於て大會開會の通知によりたき旨を送りしが代表者もありしより委員として出

慶應義塾評議員會

慶應義塾評議員會 後五時より評議員月次會を阿部泰藏、鎌田榮吉、益田武、下岩橋、伊藤欽亮等の諸氏二件に就き討論し午後九時

長春東花園の開

長春東花園の開 芽上の蕾も稍太り此の微笑ひ出すべしとて本所小松同引舟通りにて幅二間長なる東花園は敷れも來る玉

吾香園の開園

吾香園の開園 園主が丹精を凝らして培養は最早床しき色を顯はしてなるべきも今十五日より開園差萬別の盆栽を陳列して廉價を以て賣出す都合なり

龜戸の書畫展覽會

龜戸の書畫展覽會 二十五日の例祭日より豫め陳列して總覽を許し且つ正

洞庭湖八景の盆景

洞庭湖八景の盆景 漆工鏡技會中央休息所の手たる華族大河内梅樹、松溪等の諸氏が洞庭湖の名勝を爲して陳列せり其塗盆が此

新市村座

新市村座 於ける込み絶へず同座建設以來の爲し此の機を外づさ引

真模様

真模様 無念骨體に徹し候前文略之、唐突ながら一書

Vertical text on the left side of the page, likely a continuation of the main article or a separate short piece.

Vertical text on the left side of the page, likely a continuation of the main article or a separate short piece.

Vertical text on the left side of the page, likely a continuation of the main article or a separate short piece.